

増田俊男の『愉快な暴言』2026年7月1日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] t_masuda2019/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] t.masuda2026/



時事評論家 増田俊男

超円安は TACO(Takaichi Always Chicken Out)が原因！

昨日に続いて、もう一度「辛口」の暴言

円安が止まらず 1 ドル 163 円目前である。

日銀の政策決定会合（6 月）で政策金利を 0.25%上げて 1.0%にしたが円安は止まらない。昨日の「増田俊男の愉快な暴言」で、円安の原因は日米金利差などの生易しいことではなく日本政治の対米追従にあるとして、数ある中から黒田日銀総裁二期 10 年間で 1,550 兆円が（事実上）アメリカへ渡った事実を一例としてあげた。

6 月 24 日の経済財政諮問会議（合同会議）で中長期経済財政に関する試算（中長期資産）が発表された。高市首相の日本成長戦略の中身である。

従来のプライマリーバランス（基礎的財政収支）の黒字目標は外されたが、「債務残高（国と地方）対 GDP 比の安定的低下が財政運営の中核的目標とされているのだから財務省本来の指針である財政健全化の踏襲以外の何物でもない。

2027 年 4 月からの消費税減税（食料品等）で約 5 兆円、AI（人口頭脳）、半導体その他 17 分野の成長戦略で約 30 兆円だが、一体どこに財源があるのか。

国債発行残を GDP 比マイナスにして財源を得るには GDP が飛躍的（二桁）に伸びなくてはならない。

2%足らずの GDP の伸びでは到底おぼつかない！

従って高市早苗首相の日本成長戦略は「絵に描いた餅」、すなわち出来もしないことを大げさに言うトランプ大統領の TACO（Trump Always Chicken Out）と同じである。

これから先は赤字国債増額、名前を変えた形（ごまかしの）の国債増発だから日本の国債利回りは上昇し、円安がさらに加速する。

消費税減税は円安による物価押し上げと便乗値上げで相殺どころか逆効果となり 5 兆円をドブに捨てたと同じことになる。

与野党が雁首（がんくび）を揃えて食品消費税減税の果てしない議論を続けているが、一体自分たちは何をやっているのかを宇宙から眺めて見てはどうか。

こういう国の国民は浮かばれない！

黒田異次元金融緩和の名の下に 1,550 兆円と共に日本の優秀な人材がアメリカへ逃避した事実を日本の政治家の皆様はどう思っているのだろうか。

日本の株価が高いのは、政府・日銀の為替介入と同じく、三日天下で終わる高市介入効果。余計なことは知らない方が良く、「知らぬが仏」だから。

でも知っている方が知らないより儲かるに決まっているのだから、儲けたい人は「インターネット目からウロコの増田塾」で勉強すべきだと思う。

※増田俊男の小冊子 Vol.159 先行受付中！お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。